

# つながりを求めて



特定非営利活動法人なら人権情報センター

奈良県磯城郡田原本町鍵301-1

TEL 0744-33-8585 FAX 0744-32-8833

E-mail [info@nponara.or.jp](mailto:info@nponara.or.jp) (担当: 西田・吉岡)

2024年11月

第139号

NPO 法人なら人権情報センターは、「誰一人取り残さない」やさしさとぬくもりのある地域社会、まちづくりをめざして、地域の人々とのつながり、人権を尊重し合える事業を進めています。人権を大切にする気持ち、自分自身を大切にする気持ち、人々とのつながりを大切にする気持ちを育むために、さまざまな研修や講座、学習支援、相談者に寄り添った各種相談事業をおこなっていきます。多くの町民の皆さんの、ご支援、ご参加をお願いします。

中学生の学習支援を通して生きるための力を育む事業

## かいほう塾

- ・開講日：原則毎週木曜日 19時～ 20時30分
- ・場 所：三宅町交流まちづくりセンター MiiMo
- ・対象者：式下中学校在校生及び三宅町在住中学生



11月に入り、早いもので今年もあと2か月。

新しく入った1年生も「かいほう塾」に慣れてきた様子。1年生は20人以上いるので、大賑わいです。上級生の2年生、3年生とも顔見知りで仲良く交流しています。スタッフにも声をかけやすくなったのか、いろいろ質問するようです。10月22日には、あざさ苑で学習交流会を行いました。ビンゴゲーム大会は大いに盛り上がりました。今後もいろんな企画をスタッフや生徒と一緒に考えながら行っていきたいと考えています。

かいほう塾はいつでも参加できます。気軽に一度見に来てください

### <かいほう塾の日程>

11月7日(木)・14日(木)・21日(木)

12月5日(木)・12日(木)・19日(木)



## 第 2 回 人権学習講座

8月8日、交流まちづくりセンターで行われました。中村之菊さんが「沖縄米軍廃棄物巡回展から—沖縄を知り、自分ごととして考える」と題して講演を行い、40人が受講。中村さんは沖縄に過密する米軍基地を東京へ引き取することを訴え、活動。米軍が関わる環境汚染問題を政府、防衛省などに要請や追及を行っています。沖縄県の面積は日本全体の0.6%。人口は1%。その沖縄に在日米軍施設の70.27%が集中します。戦後、本土にあった米軍基地を反対運動で「追い出した」ため、米軍統治下の沖縄に持って行ったのです。



沖縄には日本に生息する動植物の70%の種類が存在。絶滅危惧種95種のうちの75種は沖縄固有のもの。そうした自然の宝庫に米軍北部訓練場があり、ジャングル戦の実弾演習が行われています。返還された土地を米軍は原状回復しなくてもよいと日米地位協定で決め、日本政府は支障を除去したとして所有者に引き渡しますが、実際は危険物である弾薬や有害物質が次々と発見されています。



沖縄の人々は「基地の県外・国外移設」「日本国民が相応の負担を」と求めてきたにもかかわらず、大切な議論を私たちは沖縄の人たちと行わないまま、現在に至っています。基地の無い島をめざした沖縄では、米軍基地の割合が日本に復帰してから急激に増えています。日米安全保障も、憲法9条も、沖縄を犠牲にすることで維持できています。安全保障や米軍基地の問題は、日本で生きるすべての人たちが考える問題だ、と訴えました。

## 第 3 回 人権学習講座

9月17日、交流まちづくりセンターで行われました。先住民族アイヌの声実現！実行委員会の多原良子さん、出原昌志さんが「アイヌの今」をテーマに講演。40人が受講。

アイヌ民族は18世紀松前藩から奴隷同様の扱いを受け、中でも女性は和人の妻、妾にされ、家庭崩壊が横行。明治政府に統合後は搾取と同化政策で苦難の歴史を歩み、アイヌ女性は民族差別と女性差別の複合的被害を受け続けました。2016年の国連女性差別撤廃委員会に民族衣装を着て出席。それを杉田水脈が「コスプレおばさん登場」と誹謗中傷。札幌法務局は昨年、これを人権侵犯と認定し、ヘイトスピーチを規制する社会規範を初めて示しました。アイヌ民族の人権擁護へ包括的差別禁止法、独立した人権機関の創設が必要だと多原さんは訴えました。



出原さんは国は植民地政策の矛盾・責任を生存競争に敗れた滅びゆく劣等民族だと人種主義・優生思想にすり替えました。人類学者は大量のアイヌの遺骨を盗掘。それは大和民族の優秀さと、アイヌへの差別思想を創るため。なぜ被害者が遺骨返還訴訟をしなければならないのか。貧困、急激な人口減少、同化強制の中でアイヌの権利回復は国家の成り立ちを問う問題であり、社会・国家を支える和人の問題だと。アイヌ民族は全国に居住しています。自治体の人権推進指針・基本計画でアイヌ施策推進法の記述が欠落している例もあるが正しい歴史認識の定着をと訴えました。

第30回  
生き生き交流祭

11月10日(日)午前10時から三宅町文化ホール  
三宅町交流まちづくりセンターMiiMoで開催

三宅町から事業委託を受けて行うこの交流祭は幅広い世代が交流祭を通して反差別・人権尊重を考え、共感しあえる場所をめざしています。

今年の交流祭のテーマ

「子どもたちの人権と戦争を考えよう！」

記念講演:「紛争地から見た平和憲法・ガザ、ウクライナ、アフガニスタンの今」

講師:西谷文和さん(フリージャーナリスト)

昨年は天理大学にウクライナから避難している留学生を迎え、戦争と人権を考えることの大切さを参加者と共感してきました。しかしロシアによる不合理で残虐な、ウクライナ侵攻による被害は何も変わっていません。そればかりかイスラエルによるパレスチナへの攻撃が始まりました。「子どもたちに対する戦争」とも呼ばれ、子どもが10分ごとに1人死傷し、1万9千人も孤児になってしまうなど、子どもをはじめ多くの市民が犠牲となっています。西谷さんは長年中東問題に関わり、取材を通じた現状を各種メディアや講演会などで訴えてきました。今回パレスチナとイスラエルの戦争に至る経緯をお聞きし、映像を通してみてきたガザ地区の状況や、子どもたちの様子を語っていただきます。



午前中 MiiMo 広場ではオープニング行事、文化ホール前広場は出店、MiiMo1階ではバザーが行われます。午後は文化ホール内で文化交流。子どもたちの絵画をはじめとした展示は午前10時～午後4時までご覧になれます。みなさんのお越しをお待ちしています。



ひと休み

毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎  
毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎  
毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎  
毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎  
毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎  
毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎  
毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎  
毎毎毎毎毎毎毎毎毎毎

一字だけ違う漢字があります。  
(答えは次のページの下です。)



## よもやま話

今年も11月に入り、押し詰まってきた感じがします。みなさんも「1年なんかあっという間やね」と会話の中で話されていると思います。元日に能登地方で大きな地震があり、その復興の中でまたもや集中豪雨による災害と、大変な思いをされていると思うと胸が痛みます。当事者でなくても、国や県には、地域や地元住民によりそった復興支援を第一に集中してほしいです。

「かいほう塾」の漢字ドリルで1月を睦月、2月を如月…と順に漢字で書き換える問題がありました。すべて漢字で書くのはさすがに難しいです。そのなかで目をひく、「神無月(かんなづき)」。10月に全国の神様が「縁結び」の会合のため、出雲に集まり、居無くなるので神無月。「ロマンスの神様」も集まるのでしょうか。出雲では逆に「神在月(かみありづき)」らしいが、どうもこれは正確な話ではないらしい。出雲大社の参拝者を世話する「御師(おんし)」と呼ばれる人がひろめたといわれています。さらに留守番役の恵比寿様、道祖神、かまどの神様もちゃんとして、まったくいなくなるわけではないので、安心もさせています。商売上手な神様の知恵かもしれません。ちなみに12月の師走は、「僧侶が馳せる」月として、「師馳す」が師走になったそうです。こんなことを話しながら、中学生のみんなと勉強するのも楽しいです。



## 人権相談

### あなたはひとりじゃない！ ～ 一人で悩まないで ～

あなたの身の周りに起きている心配ごと、困りごとをどうしていますか？たとえば子どものことや家族のこと、仕事のことや将来の不安、DVなどがそうです。

友達や家族、公的機関などに相談するのは良しとして「他の人に知られたくない」、「相談するところが解らない」などと考えてじっと我慢している方、いらっしやいませんか？もしかすると解決する方法はあるかも。解決とまではいなくても一筋の光が見えるかもしれませんし話すだけでも気持ちが楽になるかもしれません。どうか一人で抱え込まないで欲しいというのが私たちのメッセージです。まず下記までお気軽にお電話ください。また三宅町人権センター2階相談室で面接相談も行っていますのでご利用ください。(要予約) プライバシーは厳守いたします。安心してご連絡ください。

### 三宅町人権相談窓口

奈良県磯城郡三宅町屏風 250-21 三宅町人権センター内  
電話/Fax 0745-42-2221 相談日 毎水曜日 (11時～16時)  
URL <http://www.nponara.or.jp>



答え:上から2行目の右から4列目「莓」です。